

# えんだより(3月号)

令和8年2月27日発行

社会福祉法人 鳳鳴会  
チャリティー第一保育園  
(Tel: 59-3040)

寒さの中にも少しずつ春の気配を感じるようになりました。今年度も残り一か月ですね。  
令和7年度は各クラスにおいて保育のメインテーマを掲げました。当園の環境を活かした保育をリーダー職員で見つめ直す機会を作り、「自然」との関わりに着目しました。子どもたちが主体的に遊びこめる、興味関心を広げ探求できるような環境を工夫しました。その様子は、クラス便りを通して保護者の皆様へお伝えしておりますが、子どもたちが遊びを通して、たくさんのお事にふれる中で、ひとりひとりがその子らしく成長する姿に、私たち保育者はとてもうれしく思っております。

こまどり組のお友だちは、3月末をもって保育園を巣立ち、小学校へと新たな一歩を進みます。保育園生活最後の日まで、良い思い出となるよう充実した時間を過ごしたいと思います。在園児のお友達は、進級へと期待に胸を膨らませ、ちょっと背伸びをするような思いを感じていることでしょうか。子ども達の1年の成長をかみしめながら、まとめの月を丁寧に過ごして参りたいと思います。

## 2月の子供たちの様子

### ☆豆まき会(2/3)☆

0～2歳児はお部屋で鬼の絵に、3～5歳児は園にやってきた赤鬼を退治。うぐいす・こまどり組は勇敢に立ち向かい紙の豆を投げてくれました。



### ☆みそ作り(かなうぐこま)☆

- ①ゆでた大豆をしっかりとつぶす
- ②こうじをまぜます ③樽にしこみます⇒完成!
- ④重さを計り、1年後のみそと比べます。
- ⑤来年の今頃に、みそおにぎりに挑戦。



### ☆カレークッキング(こまどり)☆

- ①野菜を洗う②皮をむく③切る④小向先生に煮込みをお願い。
- ⑤慎重に盛り付け⑥いただきます!



### ☆ブルーチェッククッキング(はと)☆

「おいしくな～れ」と願いを込めて、まぜまぜしました。



### ☆お屋さんごっこ(こまどり)☆

参観日の時は、廃材を利用したお屋さんでしたが、この日は、本物のおやつを販売しました。



### ☆学校訪問(こまどり)☆

入学に向けて就学前プログラムの1つです。おおぞら小学校訪問に行きました。



## 新年度クラス説明会のご案内 (☆いずれかの時間をお選びになりご参加下さい。)

3月26日(木)

- 15:00～15:50 すずめ・ひばり・はと組
- 16:00～16:50 かなりや・うぐいす・こまどり組

3月27日(金)

- 15:00～15:50 かなりや・うぐいす・こまどり組
- 16:00～16:50 すずめ・ひばり・はと組

※全クラスの保護者が対象となりますが、都合により不参加の方へは、後日書類をお渡します。

## 3月のよてい

- 2日(月) 身体測定(0歳児)
- 3日(火) ひなまつり会  
生どらクッキング(こまどり組)
- 5日(木) こども赤十字
- 7日(土) 第65回卒園式(こまどり組親子で参加)
- 10日(火) こまどり組を送る会
- 11日(水) お誕生会
- 16日(月)～29日(日) 春休み(1号園児)
- 24日(火) 避難訓練



### 保育料引落日

3/25(水)

### 2・3月のおうた

幸せなら手をたたこう  
コンコンクシャンのうた  
アルプス一万尺

### 今月の教室活動

[キッズピクス教室]  
お休み  
[サッカー教室]  
3/9(月)

### ゲーム機やタブレットの使用について

小学校では、一人勉強(家庭学習)に取り組むなど、入学してから徐々に、自ら学習環境を整えるようになります。しかし、ゲーム機等が手放せず苦労されている話をよく耳にします。

幼児期は脳の発達が進むため、特定の刺激ばかり受けると発達に偏る場合があります。お子様の性格によっては、コントロールが難しい状態におちいることがあるようです。幼児期の使用は発達上おすすめしませんが、家庭の都合により与える場合は、お子様が自己をコントロールする力(遊べない日を設け、我慢できるか。時間を守るか。親がやめなさいと言ったら止められるか。)を見ながら、購入するか否かを判断しましょう。

### 就学前プログラムとは?

4月に1年生になるこまどり組。初めての小学校生活は期待と不安が入り混じっています。学校生活の不安が少なくなることをねらいとしたのが就学前プログラム。

- 1回目の内容  
授業参観(終わりの10分)  
中休み体験(小学生となわとびをする)
- 2回目の内容  
休みの時間を利用して、学校を探検する。

## えんちょう先生より

### 「青森県幼児教育のグランドデザイン作成中」

青森県がめざす幼児教育をこどもに関わるすべての人たちへお伝えすることを目的として、令和8年3月末を完成目標として冊子が作成されています。

青森県幼児教育のグランドデザインでは、6つの柱を掲げています。

- 1 全てのこどもが遊びを通じた学びの中で安心して挑戦できる ～こどもまんなか青森の幼児教育～
- 2 全てのこどもの主体性を引き出す教育・保育 ～あそびひろがる まなび芽生える 青い森のこどもたち～
- 3 幼保小の連携・接続 ～幼保小のつながりて、こどもの未来をひろこうあおもり発「架け橋プログラム」～
- 4 家庭や地域とともに ～家庭や地域と幼児教育施設は、こどもをともに育てるパートナー～
- 5 全てのこどもや家庭の多様性に応じた支援 ～「支援」はすべてのこどもや保護者、教職員にとって必要なもの～
- 6 あおもり幼児教育センター (※青森県の幼児教育の質の向上をめざすため令和5年4月発足)

黒沢は、あおもり幼児教育センターの幼児教育アドバイザーであり、このグランドデザインの内容を検討するワーキンググループの委員及び議長を務めております。

私にとっての保育観は、チャリティーの保育です。当園の保育を通して育まれている子どもたちの姿や当園の保育者の姿、そして保護者の皆様の思いが私の学びとなっており、それぞれの姿から感じている幼児教育の大切さを会議の中で発信しております。

子ども達は「私たちの未来」です。一人ひとり、その子らしく輝く未来を信じています。この春、園を巣立つ子ども達の育ちゆく姿を思いながら、いつまでも応援しています。

園長 黒沢のぞみ